

平成 23 年 3 月 14 日
四 国 地 方 整 備 局

入札監視委員会の審議概要について

四国地方整備局入札監視委員会第二部会は、本年度第4回定例会議を下記のとおり開催しました。

審議内容は、四国地方整備局(港湾空港関係)が平成22年10月から平成22年12月までに発注した工事、建設コンサルタント業務等及び役務・物品の中から委員が無作為に抽出した5件の入札・契約手続に関する事項について審議を行いました。

その審議概要は別添のとおりです。

記

開催日 平成23年2月28日(月)

会 場 高松サンポート合同庁舎 13階会議室

問い合わせ先

高松市サンポート3番33号 電話 087-851-8061(代表)

四国地方整備局入札監視委員会事務局

技術審査官 香 川 泰 良 (内線6216)

経理調達課長 松 本 辰 雄 (内線6311)

品質確保室長 松 尾 義 文 (内線6413)

別添1

四国地方整備局 入札監視委員会第二部会第4回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成23年2月28日(月) 高松サンポート合同庁舎 低層棟2階 アイホール					
委員 (部会委員 3名)	部 会 長 藤本 邦人(弁護士) 委 員 桑原 正行(大学准教授) 委 員 小竹 望(高専教授)					敬称略 委員は50音順
審議 対象期間	平成22年10月1日～平成22年12月31日契約分					
審議案件	総件数 5件(工事1件、建設コンサルタント業務等3件、役務及び物品1件)					
	入札方式	件 名	契約の相手方	契約金額 (千円)	入札 者数	落札率 (%)
工 事	一般競争入札 方式 (政府調達協 定適用対象外 工事)	宿毛湾港池島地区防波堤(Ⅱ)工 事(その(2))	山本建設工業 (株)	105,000	3	96.26
建設コン サルタン ト業務等	簡易公募型競 争入札方式	来島海峡航路整備方策検討業務	(株)エコー	5,775	3	83.97
	通常指名競争 入札方式	撫養港海岸桑島瀬戸地区土質確 認補助業務(その3)	日本工営(株)	6,321	10	81.57
	簡易公募型プ ロポーザル方 式	備讃瀬戸航路水深情報管理シス テム設計	(株)アーク・ジ オ・サポート	1,565	3	96.48
役 務 及び物品	一般競争入札 方式	船舶(海面清掃兼油回収船)「いし づち」修理	(有)角田造船 所	48,405	2	99.93
報告事項	①指名停止の運用状況					
	②談合情報等の対応状況					
	③低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況					
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
備 考						

(注)プロポーザル方式においては、「入札者数」は「技術提案書の提出者数」である。
(注)役務及び物品における契約金額は、「入札単価」×「予定数量」で算出したものである。

別紙 委員からの意見・質問、それらに対する回答等

1. 抽出案件の審議概要

1. 工事 一般競争入札方式(WTO適用対象外工事)

抽出案件	意見・質問	回 答
宿毛湾港池島地区防波堤(Ⅱ)工事(その(2))	・予定価格を超過した者に対しては、加算点、施工体制評価点の評価を行わないのか。 ・予定価格を超過した者の技術提案評価は0点となっているが、予定価格を超過したからなのか。それとも評価を行い0点だったのか。	・評価していない。 ・評価を行い0点だった。

2. 建設コンサルタント業務等 簡易公募型競争入札方式

抽出案件	意見・質問	回 答
来島海峡航路整備方策検討業務	・評価項目に「その他重要事項の指摘」とあり、10点の評価を受けている者があるが、「重要事項の指摘」とは何か。 ・他の2者が0点という評価は、提案内容によるものか。それとも10点の評価を受けている者と比べてか。 ・簡易公募型競争入札方式では参加資格のある者が10者以上あり、その中で10者くらいを選定し入札することが多いが、今回3者と少ないのはなぜか。 ・特に採算性のある業務ではなく、専門性の高い業務であったのか。	・各企業から重要事項に関する提案を受けている。10点の評価を受けている者は、漁業活動への影響や潮流の変化等の地域環境条件を把握した上での課題がよく整理され、さらに解決方策の提案もあり、他の2者と比べ理解度が高く、さらに精度の高い予測手法を提案するという指摘があった。 ・提案内容によるものであるが、評価基準により評価を行うか否かで中間点を設けていない。10点又は0点の評価となる。全地整とも同様の基準である。 ・参加資格がある者は想定では43者あった。推測も出来ないが、会社の事情により3者と少なかったのではないかな。 ・専門性において、航路計画といった所での専門性の高さはあるが、求めている同種業務実績は専門性が高いものではない。港湾又は航路における港湾計画の改定業務、環境アセスメント業務と幅広く実施されているものであり、実績要件としては絞っていない。

3. 建設コンサルタント業務等 通常指名競争入札方式

抽出案件	意見・質問	回 答
撫養港海岸桑島瀬戸地区土質確認補助業務(その3)	・評価項目の業務実績で「平成12年度以降に土質調査を行った実績があること」とされているが、実施した土質調査の内容を業者に求めているのか。 ・同点の場合の順位付け項目における業務成績評点(過去4年間)の平均で、75点、73点と記されているが業務成績評点はどのような基準でつけられているのか。	・求めている。 ・四国地方整備局発注業務による受注者の過去4年間の成績平均点であり、件数は、関係はない。

4. 建設コンサルタント業務等 簡易公募型プロポーザル方式

抽出案件	意見・質問	回 答
備讃瀬戸航路水深情報管理システム設計	・予定管理技術者の経験及び能力は実施関係と同様に50点の配点となっている。予定管理技術者というものは重要なため実施関係と同様の評価になっていると思うが、実際に予定管理技術者は業務においてどのような役割を行うのか。 ・公募者に予定価格を明示しているのか。	・工事における管理技術者と同様である。 ・プロポーザル方式の場合、公示文の説明書に業務料の目安を明示している。

5. 物品・役務 一般競争入札方式

抽出案件	意見・質問	回 答
船舶(海面清掃兼油回収船)「いしづち」修理	・2回目の入札後に2者の入札者のうち1者に対し不落随契の手続を実施しているが、あと1者を対象としなかったのはなぜか。 ・不落随契において、7回の見積合わせを行っているが、もう一度入札を行うには間に合わないという判断があったのか。 ・そういったケースの場合は予定価格を下回るまで何回も見積合わせを繰り返すのか。 ・毎回、落札業者は変わっているのか。	・2回目の入札時に最も安価な1者に対し、不落随契の手続を実施している。 ・油回収船は、船の衝突などにより油が流出した際に緊急出動を行う必要がある。瀬戸内海に油回収船は3隻あるが修理により2隻以上稼働不能とならないように修理計画が立てられている。よって、今回不落随契を行った。 ・実施する。 ・変わっている。